

学校名・所在地・設置学科

校 名 京都市立日吉ヶ丘高等学校

所 在 地 〒605-0000 京都市東山区今熊野悲田院山町 5-22

電 話 : 075(561)4142・0710

F A X : 075(551)9046

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/hiyoshi/> (ホームページアドレス)

学 校 長 大 江 加津雄

設 置 学 科 全日制課程 普通科

国際コミュニケーション科

創 立 昭和24年4月1日

沿革

明治 11年 8月 15日 田能村小虎南宗画家等が植村正直京都府知事に画学校設立を建議。
同 13年 7月 1日 京都御苑内に京都府画学校開校(日本初の画学校)。
同 22年 12月 1日 京都市に移管し、京都市画学校と改称。
同 24年 4月 1日 京都市美術学校と改称。
同 27年 8月 1日 京都市美術工芸学校と改称。
大正 15年 6月 10日 下京区今熊野日吉町の新築校舎に移転。
昭和 6年 7月 1日 創立50年記念式典挙行。
同 23年 4月 1日 京都市立美術高等学校と改称。
同 24年 4月 1日 京都市立日吉ヶ丘高等学校と改称。学制改革により、地域制・総合制(普通科・商業科・美術科)男女共学の高等学校として発足。校名は東山区今熊野日吉町50番地の地名に基づいて命名。
校章制定 生徒数671名 1年472名 2年176名 3年23名
同 24年 11月 1日 開校式挙式。爾後11月1日を創立記念日とする。
同 25年 1月 8日 校歌制定 作詞 森里忠男 作曲 田辺一郎。
同 25年 5月 13日 新築校舎の建設予定地を泉涌寺山内町。泉山陵付属地に選定。校地31,957.2m²。
同 25年 12月 7日 建設予定地、皇室経済会議に上程したのち衆議院で可決。翌8日参議院で可決。
同 25年 12月 13日 建築設計を明治大学教授堀口捨己工学博士に依頼。
同 27年 4月 1日 泉涌寺山内町の新築校舎に移転。
同 28年 7月 30日 本館(鉄筋4階建て)校舎竣工式挙式。
同 29年 4月 1日 商業科の募集停止。
同 33年 3月 1日 校旗制定(ダークグリーン地に金糸で校章を刺繡)。
同 34年 12月 4日 体育館竣工。床面積651,04m²。
同 41年 3月 19日 グラウンド拡張工事完成。
同 49年 8月 31日 2号館改築・竣工。
同 50年 6月 1日 プール完成。
同 53年 6月 6日 茶室「雲岫庵」復原。
同 55年 4月 1日 美術工芸科独立。京都市立銅駒美術工芸高等学校となる。
同 56年 10月 31日 2階建格技場完成。4号館を特別室棟に改修。LL教室新設。
同 60年 4月 1日 京都市内を4通学圏とし、類・類型制の教育制度を実施。
本校は、桃山・鳥羽・洛水・塔南とともに南通学圏となる。
同 60年 5月 31日 コンピュータ教室新設。
同 62年 5月 31日 トレーニングルーム完成。冷房設置8室。
同 63年 10月 1日 進路指導部にコンピュータ・システム導入(FINE・HEARTシステム)。
平成 元年 4月 1日 体育館外壁塗装完成。平成2年4月1日館内配線改修。
同 元年 5月 31日 図書館冷暖房新設。夏休み学習室として活用。
同 2年 3月 1日 儀式用演壇、ステージの整備。視聴覚VTR関係機器の整備。
同 2年 4月 25日 自転車置き場拡張工事完成。
同 4年 8月 3号館普通教室改修整備工事完成。
同 5年 6月 10日 普通教室、職員室クーラー施設7基整備完了。
同 6年 5月 24日 英語科設置許可。(40名)
同 7年 4月 10日 英語科第1期生入学。
同 8年 3月 31日 1号館および第2体育館改修。普通教室にモニターTV設置。
同 10年 3月 31日 新プール完成。
同 10年 7月 1日 2号館全教室にクーラー設置。
同 11年 10月 31日 創立50年記念式典挙行。
同 13年 3月 31日 コンピュータ教室移転・改装工事完成。
同 15年 3月 31日 メディアルーム改修工事完成。
同 15年 5月 1日 普通教室、クーラー設置。
同 17年 3月 31日 校内LAN情報コンセント設置工事完成。
同 20年 3月 31日 LL教室機器更新。
同 21年 4月 1日 国際コミュニケーション科第1期生入学(英語科募集停止)。
同 26年 4月 1日 進学型単位制普通科第1期生入学(国際コミュニケーション科募集停止)。